

著作権・著作隣接権に係るWIPOアジア地域会合に関する報告

平成24年1月20日

文化庁長官官房国際課

1. 目的

著作権・著作隣接権に関する政策・戦略について意見・情報交換を行うとともに、著作権のインフラ・キャパシティ強化に係る意見交換及び経験の共有を行い、アジア地域における著作権局間での協力の可能性について探究する。

2. 日時

平成23年10月11日(火)～10月13日(木)

3. 場所

京王プラザホテル(東京都新宿区)

4. 参加者

バングラディッシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、モンゴル、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、韓国、スリランカ、タイ、ベトナムの著作権局幹部

## プログラム

### 10月11日(火)

- 12:30-13:00 受付
- 13:00-13:30 開会式  
開会あいさつ：文化庁 近藤誠一 文化庁長官  
WIPO 高木善幸 事務局長補
- 13:30-13:45 【フォトセッション】
- 13:45-14:30 トピック 1：  
著作権・著作隣接権の国際的な法的枠組みの動向についての概観  
(講演：Mr. Manisekaran Amasi, Consultant, Copyright Development Services Division, WIPO)
- 14:30-15:30 トピック 2：  
文化庁における著作権政策及びその課題 (講演：文化庁)
- 15:30-16:00 【コーヒーブレイク】
- 16:00-16:45 トピック 3：  
アジア太平洋地域における著作権政策・戦略及びその状況の動向についての概観 (講演：Mr. Ang Kwee Tiang, Regional Director for Asia and Pacific and Counsel, the International Confederation of Societies of Authors and Composers (CISAC))
- 16:45-17:15 トピック 4：  
最近の著作権の国際的な動向と論点：制限及び例外、著作権登録及び証拠資料、国際音楽著作権登録所 (IMR)、信頼性の高い仲介機関及び世界的アクセス可能なリソース (TIGAR) プロジェクト等 (講演者：Mr. Manisekaran Amasi)
- 17:15-17:45 トピック 5：  
デジタル環境下における知的財産を取り巻く最近の国際的動向  
(講演者：高木善幸)

### 10月12日(水)

- 9:00-9:45 トピック 6：  
アジア・太平洋地域における著作権活動へのWIPOの技術協力・能力構築プログラム  
(講演：Mr. Manisekaran Amasi)
- 9:45-11:00 カントリーレポート：  
参加国の著作権・著作隣接権の最近の進展及び将来の展望 (発表：参加国代表)
- 11:00-11:30 【コーヒーブレイク】
- 11:30-12:30 カントリーレポート：(引き続き)
- 12:30-14:00 【ランチ】
- 14:00-16:00 カントリーレポート：(引き続き)
- 16:00-16:30 【コーヒーブレイク】
- 16:30-17:30 トピック 7：  
著作権・著作隣接権分野におけるWIPOの技術協力・能力構築プログラムへの参加国の要望と期待 (全体ディスカッション)

10月13日(木)

- 9:30-10:30 トピック 8 :  
著作権・著作隣接権の管理、権利執行及び普及啓発における論点、  
課題及びその対応 (講演: Mr. Ang Kwee Tiang)
- 10:30-11:30 パネル・ディスカッション:  
展望: アジア太平洋地域諸国間における著作権・著作隣接権の保  
護及び管理に係る協力可能な分野について (全参加者、発表者)
- 11:30 閉会式
- 12:00-16:00 集中管理団体見学 (JASRAC)



著作権・著作隣接権に係る WIPO アジア地域会合  
参加国による展望、WIPO による技術協力に対する要望、今後の協力分野

文化庁長官官房国際課

1. 展望

- カントリーレポートによれば、参加国は著作権制度を更に強化できるよう著作権・著作隣接権に係る法律を引き続き改正していくことについて大変意識的である。
- 複数の参加国は、未加盟の著作権関係条約への加盟を検討している旨を表明した。
- また、知財戦略の策定、集中管理団体の設置あるいは任意の著作権登録制度といった課題への取組みが多くの参加国で見受けられた。

2. WIPO による技術協力に対する要望

- 著作権及び著作隣接権の統計的データに関する定期刊行物を作成し、域内での情報共有を図る。
- 知財政策及び知財戦略のモデルの提供。
- 著作権及び著作隣接権に係る行政制度のモデルの提供。
- 著作権及び著作隣接権の管理に関する優れたビジネスモデルの開発。
- データベース（特に孤児著作物の特定のため）の構築。

3. 今後の協力分野

- 著作権関係条約が未加盟であるような著作権保護の水準が十分でない国に対する先進国からの支援。
- 各国の集中管理団体に関する情報共有及びこうした情報を活用した集中管理団体の設置を検討する国に対する支援。
- 著作権担当部局による情報共有と相互支援が可能となるよう部局間のネットワーク形成。
- 任意の著作権登録システムのための優良事例に関する研究。
- 相互の協定に基づく著作権及び著作隣接権に関する諸活動における協力。
- 著作権制度に関するスタディ・ヴィジットの機会提供。



国・地域名	ベルヌ条約加盟国	WIPO加盟国	万国著作権条約締約国	実演家等保護条約(ローマ条約)締約国	著作権に関する世界的著作権条約(WCT)	実演及びレコードに関する世界的著作権条約(WPPT)	WTO設立協定受諾国地域	備考
インド	○	○	○				○	
インドネシア	○	○			○	○	○	
韓国	○	○	○	○	○	○	○	
カンボジア		○	○				○	ベルヌ条約加盟を検討
北朝鮮	○	○						
シンガポール	○	○			○	○	○	
スリランカ	○	○	○				○	WPPT加盟を検討
タイ	○	○					○	
中華人民共和国	○	○	○	○	○	○	○	
日本	○	○	○	○	○	○	○	
ネパール	○	○					○	ローマ条約、WCT、WPPT加盟を検討
パキスタン	○	○	○				○	WCT、WPPT加盟を検討
バングラデシュ	○	○	○				○	
フィリピン	○	○			○	○	○	
ブータン	○	○						
ブルネイ	○	○					○	
ベトナム	○	○		○			○	WCT、WPPT加盟を検討
マレーシア	○	○					○	ローマ条約、WCT、WPPT加盟を検討
ミャンマー	○	○					○	
モルディヴ		○					○	ベルヌ条約加盟を検討
モンゴル	○	○			○	○	○	
ラオス		○	○					ベルヌ条約加盟の最終手続き、ローマ条約加盟を検討
合計	19/22	22/22	9/22	4/22	7/22	7/22	19/22	アジア地域における加盟国数22カ国

※WIPO地域会合の参加国は  で表示。

